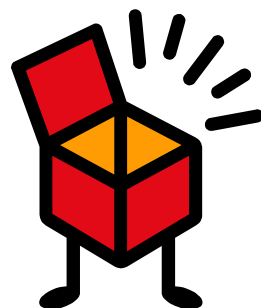


日立金属株式会社
2014年度第2四半期累計決算説明



Materials Mag!c

2014年10月27日

 日立金属株式会社
Hitachi Metals, Ltd.

<http://www.hitachi-metals.co.jp>

14年度第2四半期累計(14年4月-14年9月)業績概要

(単位: 億円)

	13年度 第2四半期累計 実績*	14年度第2四半期累計		前年同期比	予想比
		業績予想値 2014年7月29日公表	実績		
売上高	3,505	4,470	4,505	129%	101%
営業利益 (営業利益率)	231 (6.6%)	340 (7.6%)	340 (7.5%)	+109	±0
営業外損益	△4	△18	1	+5	+19
経常利益	227	322	341	+114	+19
特別損益	△47	13	38	+85	+25
税前利益	180	335	379	+199	+44
四半期純利益	96	250	286	+190	+36
ROE(株主資本利益率)	6.7%	13.4%	15.0%	+8.3	+1.6
設備投資額	146	250	190	+44	△60
減価償却費	151	180	175	+24	△5
研究開発費	73	90	101	+28	+11
フリーキャッシュ・フロー	387	—	359	△28	—

*13年度第1四半期は電線材料セグメントの実績を含んでおりません

海外売上高 1,905億円 (前年同期比 124%、海外売上高比率 42.3%)
 <北米 553億円(構成比 12.3%), アジア 1,047億円(同 23.2%), 欧州 235億円(同 5.2%), その他 70億円(同 1.6%)>

■ 需要動向

自動車関連 : 北米・中国を中心に海外需要が堅調に推移
 エレクトロニクス関連 : スマートフォンやタブレット端末等が海外需要を中心に好調に推移
 産業インフラ・エネルギー関連 : 産業機械需要・公共投資等は堅調に推移

(単位:億円)

	売上高					営業利益				
	13/2Q累計 実績*1	14/2Q累計		前年 同期比	予想比	13/2Q累計 実績*1	14/2Q累計		前年 同期比	予想比
		予想値*2	実績				予想値*2	実績		
高級金属製品	1,170	1,280	1,275	109%	100%	123 (10.5%)	155 (12.1%)	148 (11.6%)	+25	Δ7
磁性材料	645	685	684	106%	100%	38 (5.9%)	80 (11.7%)	75 (11.0%)	+37	Δ5
高級機能部品	911	925	942	103%	102%	60 (6.6%)	65 (7.0%)	59 (6.3%)	Δ1	Δ6
電線材料	792	1,590	1,615	204%	102%	44 (5.6%)	87 (5.5%)	98 (6.1%)	+54	+11
その他・消去	Δ13	Δ10	Δ11	—	—	Δ34	Δ47	Δ40	Δ6	+7
連結合計	3,505	4,470	4,505	129%	101%	231 (6.6%)	340 (7.6%)	340 (7.5%)	+109	±0

*1 13年度第1四半期は合併前のため 電線材料セグメント数値を含んでおりません

*2 2014年7月29日公表値

セグメント別売上高・営業利益： 高級金属製品

(単位:億円)

売上高 1,275億円 13/上比 109%
営業利益 148億円 13/上比 25億円増

自動車生産の増加や環境親和製品の需要が堅調に推移し
 前年同期比で増収増益

■特殊鋼

- ・工具鋼： 国内向けは好調な設備投資需要等を背景に堅調に推移、海外向け需要も総じて堅調に推移し、前年同期比で増加
- ・電子材料： ディスプレイ関連材料の需要が堅調に推移、半導体等パッケージ材料もスマートフォンやタブレット端末を中心とした需要が好調に推移
- ・産業機器材料： 自動車関連材料は環境親和製品への需要が国内・海外ともに堅調に推移、エネルギー関連材料は、旺盛な需要動向が続いた前年同期比では減少。
 航空機関連材料は、需要動向が好調なことに加え、14/2Qから日立金属MMCスーパーアロイ株式会社の連結子会社化もあり増加

■ロール

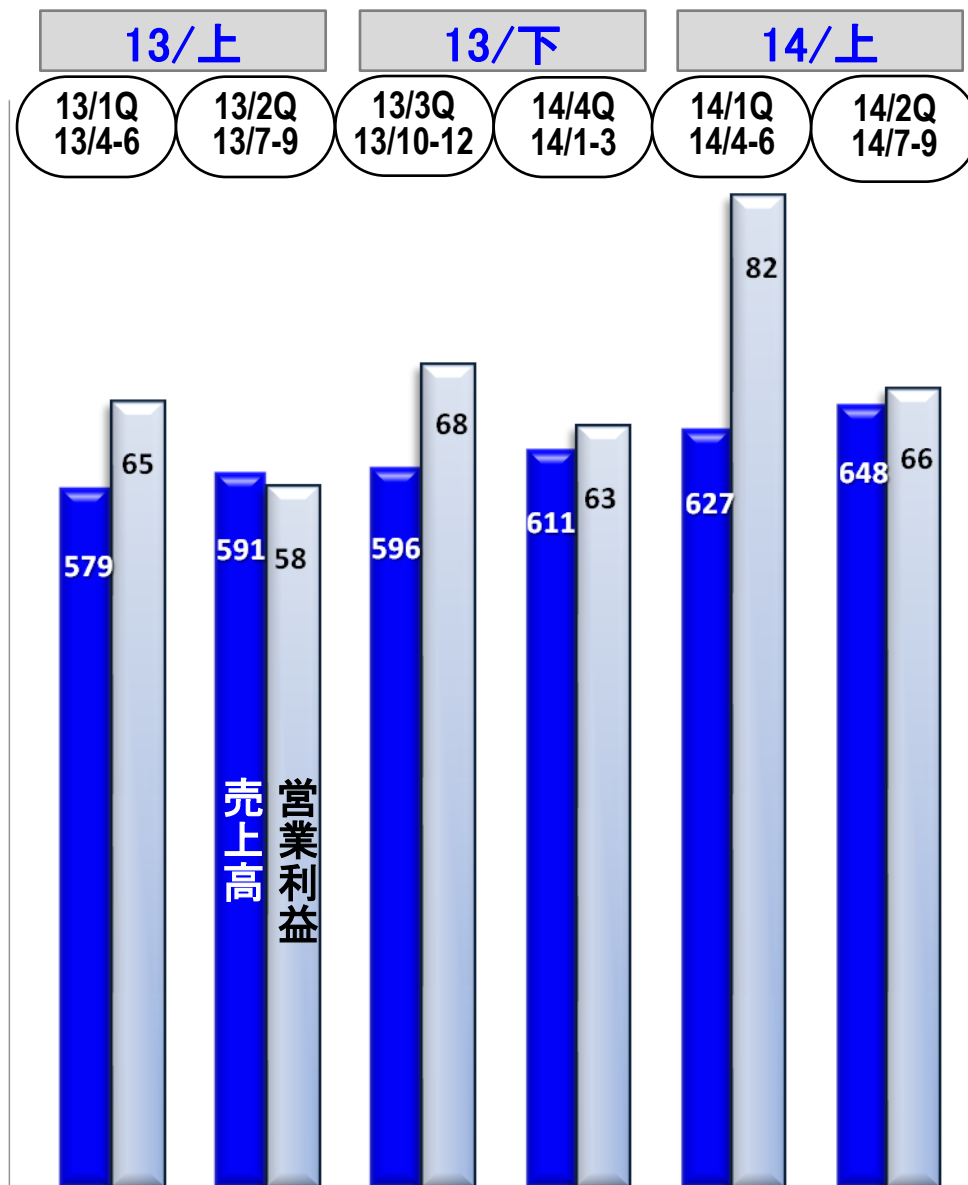
- ・各種ロール： 海外需要が堅調に推移し前年同期比で増加
- ・射出成形機用部品： スマートフォンやタブレット端末を中心とした需要好調を背景に、国内・海外向けともに好調に推移し増加

■アモルファス金属材料

上期後半に主要市場の中国において需要調整となり、生産量が減少したものの、北米における需要は堅調に推移。円安効果もあり、全体として前年同期並み

■切削工具

産業機械等の国内需要が好調に推移、海外向けも輸出改善を背景に堅調に推移し増加



セグメント別売上高・営業利益： 磁性材料

(単位:億円)

売上高 **684億円** 13/上比 106%
 営業利益 **75億円** 13/上比 37億円増

自動車関連およびFA関連を中心とした需要が好調に推移、
 原材料価格の影響も改善し前年同期比で増収増益

■マグネット

・希土類磁石:

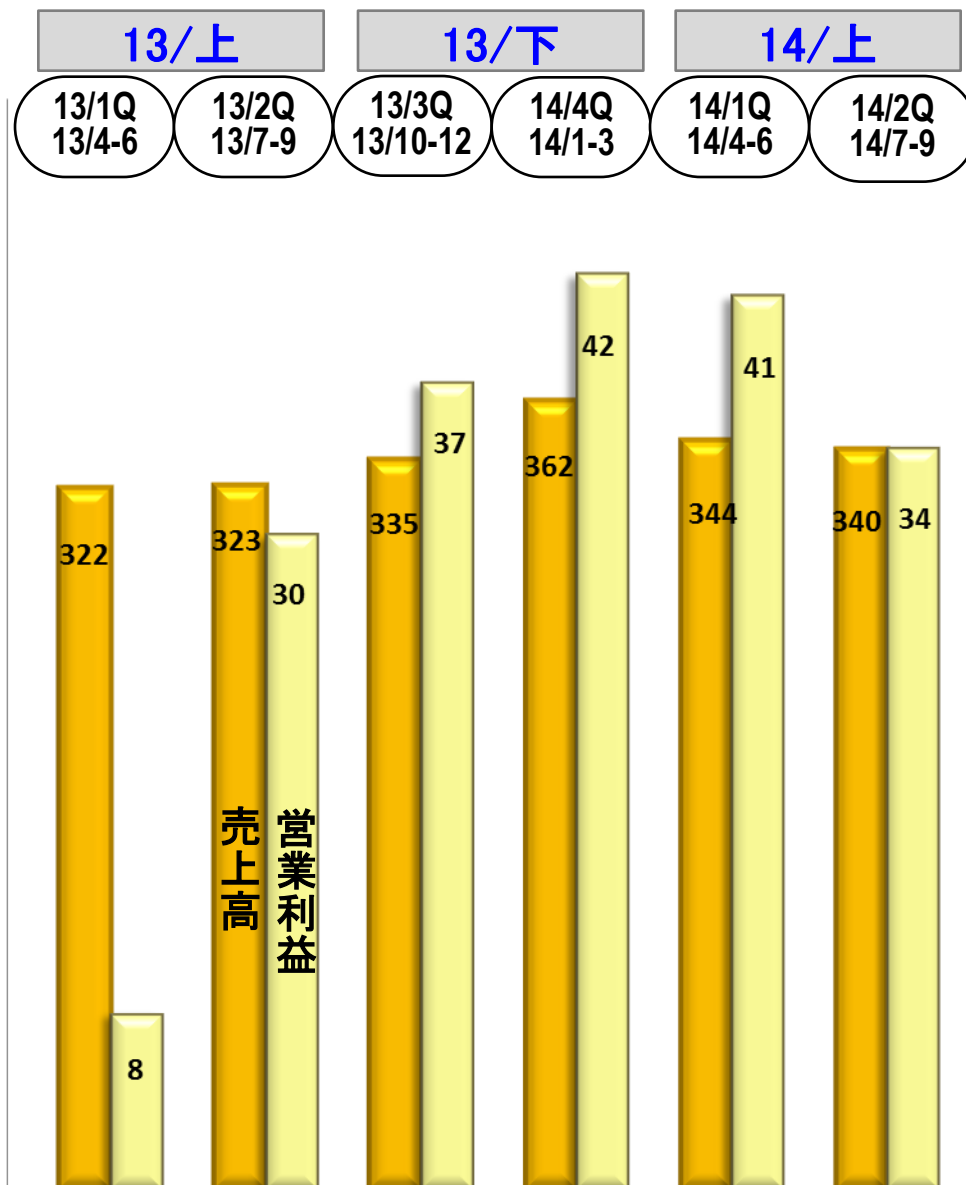
ハイブリッド車や電動パワーステアリングなど自動車用電装
 部品の需要が好調なことに加え、家電関連およびFA関連需要
 も好調に推移したことから、前年同期比で増加

・フェライト磁石:

国内、海外とも自動車用電装部品および家電用部品の需要が
 好調に推移し増加

■軟質磁性材料・応用品

フェライト応用品は太陽光発電用部品向けの需要が好調に推移、
 フェライトコアも自動車用電装部品およびスマートフォン向けを
 中心に堅調に推移。
 ファインメットは、汎用インバータ向け及びエアコン向け等の需要
 が堅調に推移



セグメント別売上高・営業利益： 高級機能部品

(単位:億円)

売上高 942億円 13/上比 103%
営業利益 59億円 13/上比 横ばい

配管機器および建築部材は前年同期比で減収となったものの自動車用鋳物の需要が米国市場を中心として好調に推移し、全体として前年同期比で増収、利益は横ばい

■自動車用鋳物

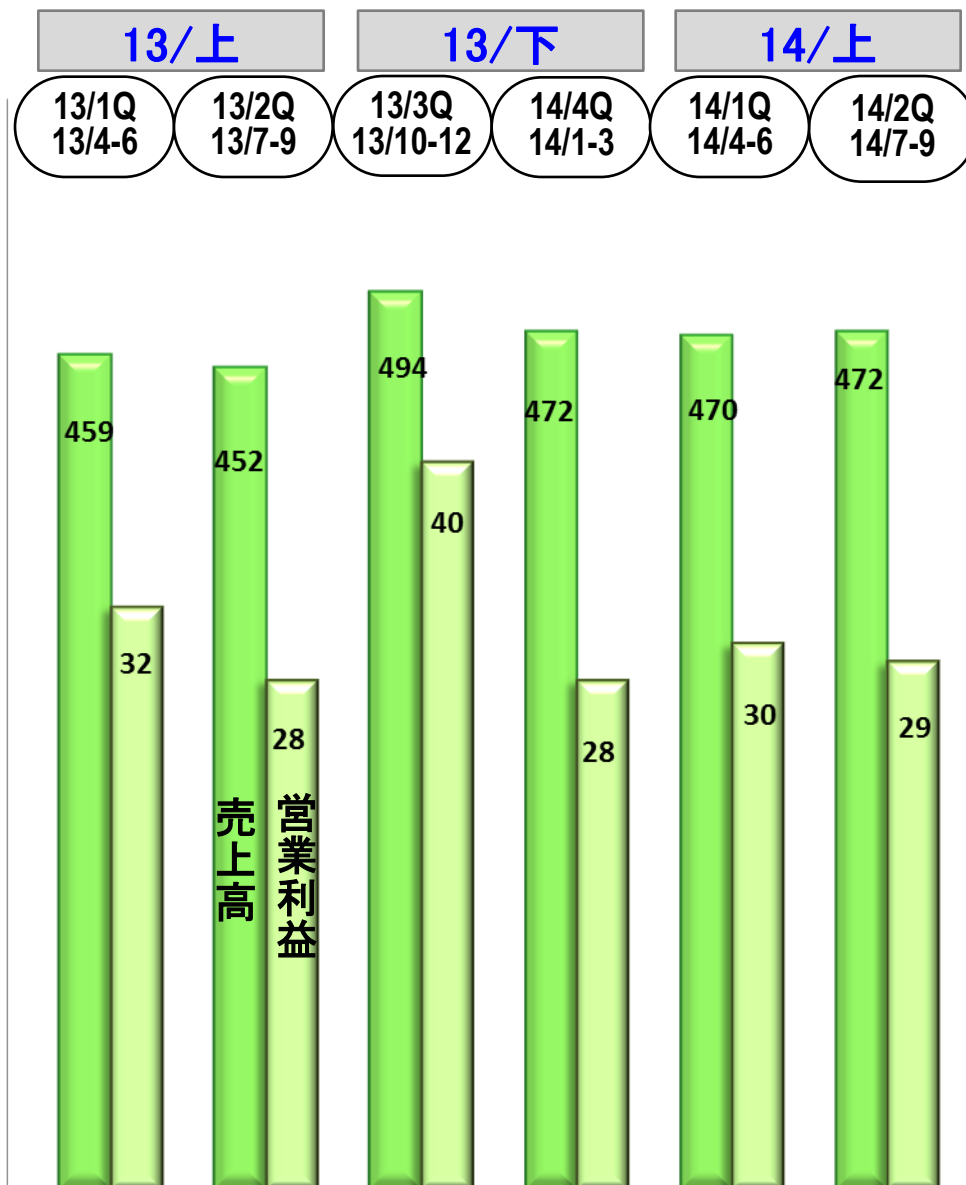
- ・耐熱鋳造部品： 主要市場である欧州で需要持ち直しの兆しが見られたことに加え米国における需要も堅調に推移し、前年同期並み
- ・高級ダクタイル鋳鉄製品： 米国をはじめとする海外の自動車需要が旺盛に推移し、国内も消費税率引き上げに伴う需要反動減の影響が限定的となり、全体として好調に推移し増加
- ・アルミホイール： 国内は当社製品の搭載車種の一部に減産の動きがあったものの、米国の需要が堅調に推移し、前年同期比で増加

■配管機器

- ・各種管継手： 国内は消費増税に伴う駆け込み需要の反動による住宅着工戸数減少の影響があったものの、米国での需要が堅調に推移、前年同期並み
- ・ステンレス及びプラスチック配管機器： 住宅着工数減少の影響はあったものの、ガス用製品に対する施工性・耐震性の高評価を受け需要が堅調に推移したことから、前年同期比では横ばい

■建築部材

国内における民間設備投資や公共投資等による需要は堅調なもの、工事進行基準の適用範囲拡大等、一時的増加要因があった前年同期比では減少



セグメント別売上高・営業利益：電線材料

(単位:億円)

売上高 1,615億円 13/上比 204% ※合併前となる13/1Qは除く

【参考】旧日立電線1Q業績合算後 13/上比 96%

営業利益 98億円 13/上比 54億円増 ※合併前となる13/1Qは除く

【参考】旧日立電線1Q業績合算後 13/上比 22億円増

電線、自動車用部品、情報デバイスともに好調に推移
注力分野の海外鉄道車両用電線および医療機器用プローブケーブル、自動車用部品の旺盛な需要が持続

■電線

電力・産業システムおよび電子・通信材料は、国内建設関連の需要が堅調に推移、工作機械向けを中心とした需要も堅調に推移。
鉄道車両用電線も、国内、海外ともに需要が好調に推移。
医療機器関連分野の医療用プローブケーブルも需要が好調に推移

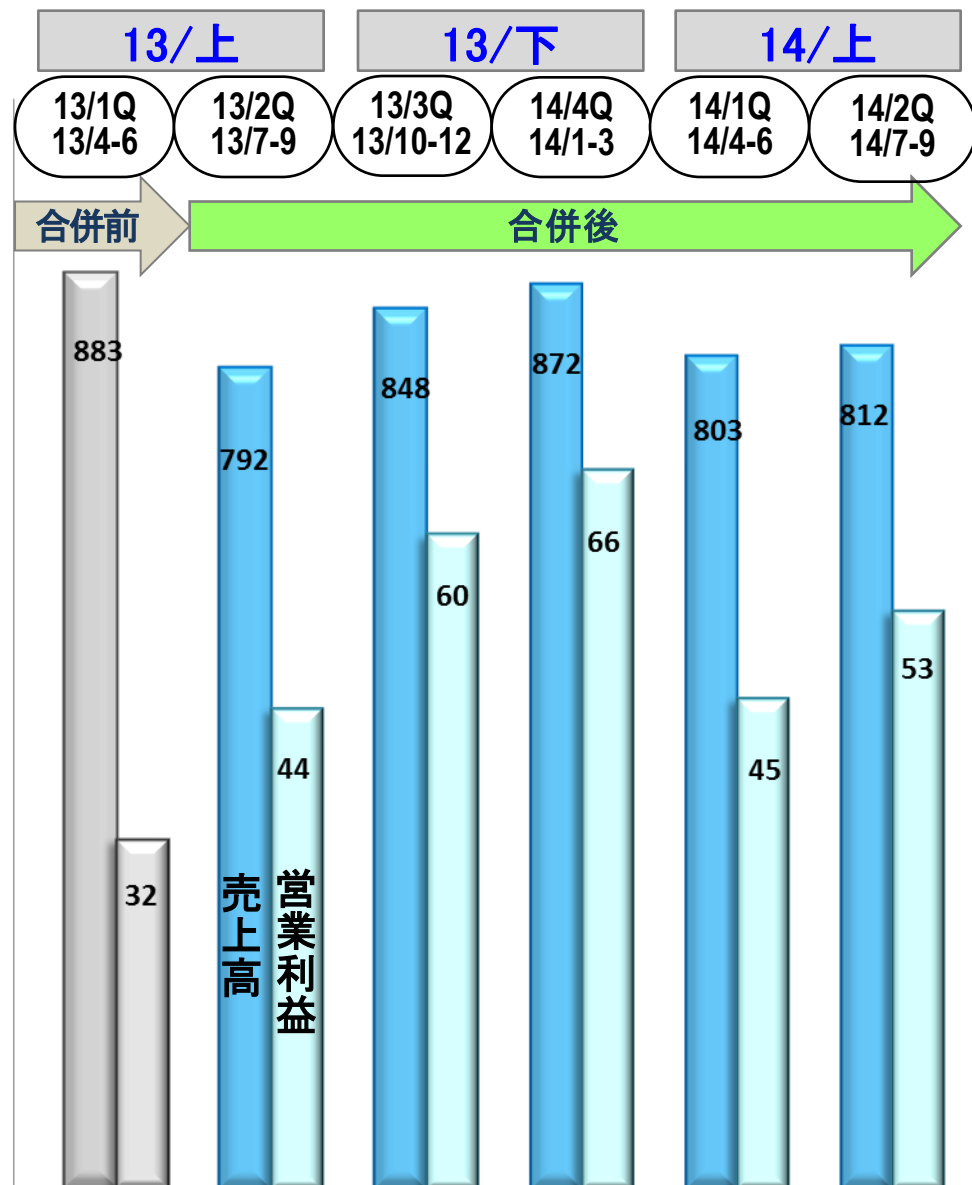
■自動車用部品

注力分野であるハイブリッド車用ハーネスや電動パーキングブレーキ用ハーネス、車載センサーなど電装部品を中心とした旺盛な需要が、国内・海外ともに持続

■情報デバイス

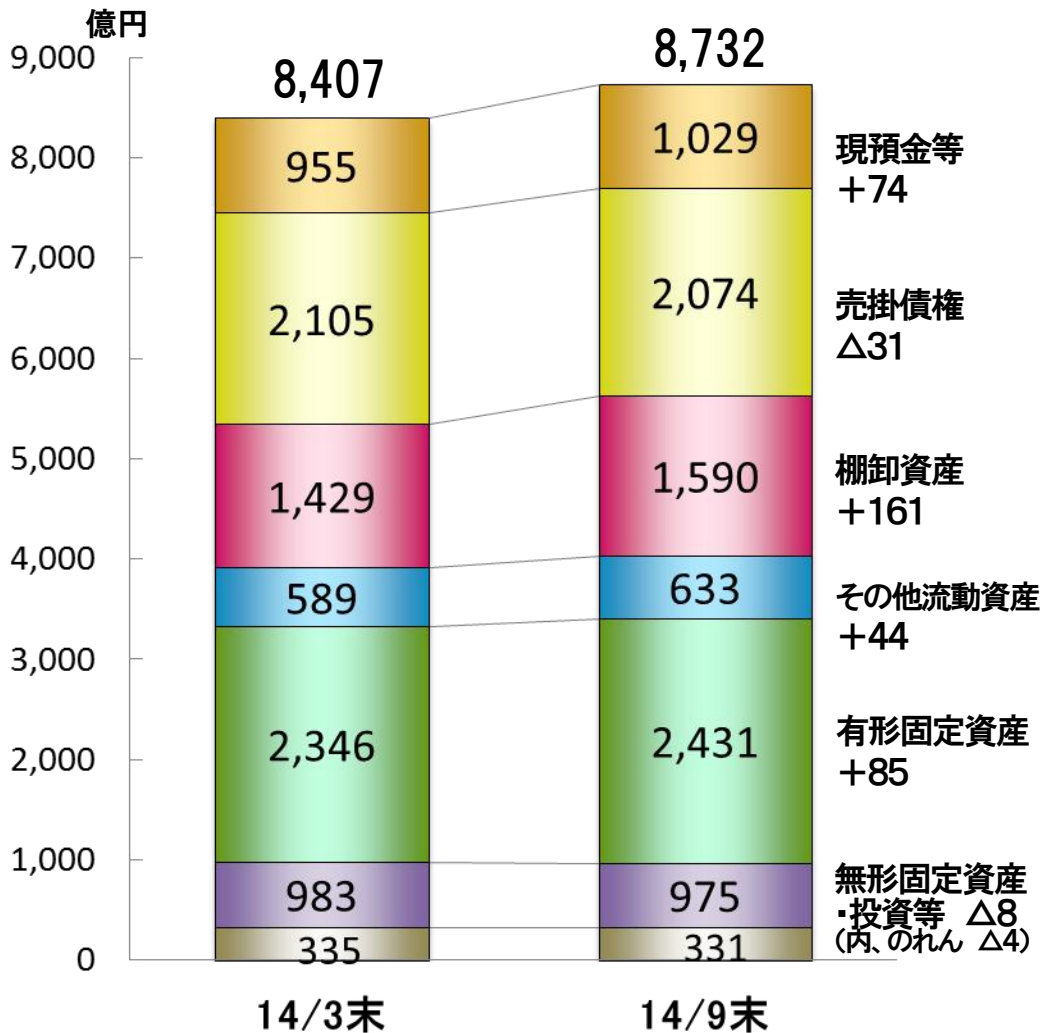
スマートフォン普及による通信事業者の設備増強投資が旺盛に推移、ネットワーク機器およびワイヤレスシステムの需要が好調に推移

* 当セグメントは、平成25年7月1日付日立電線株式会社との合併に伴って新設された事業セグメントです。平成25年度第2四半期連結会計期間から当セグメントにおける業績を当社グループ業績に反映しております。

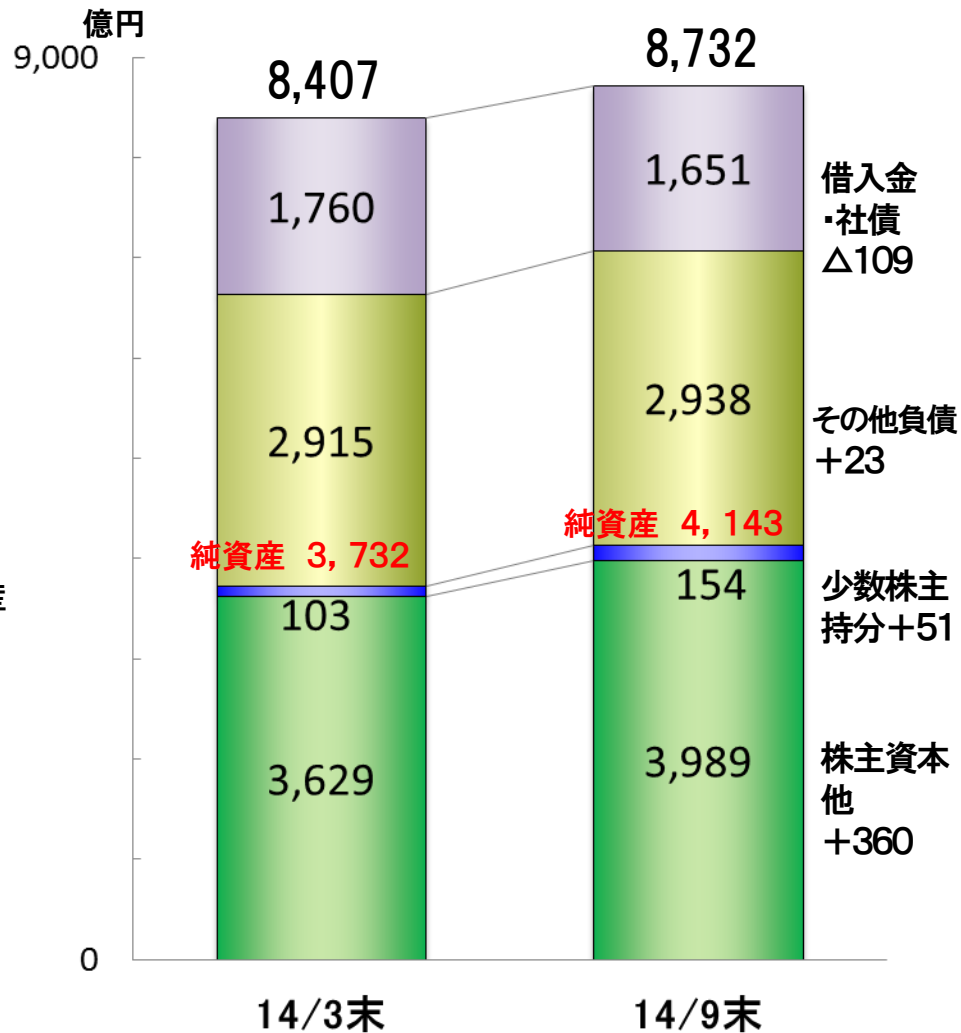


14/3末比増減 **+325億円**
 D/Eレシオ **0.48 → 0.41**

資産



負債・純資産



(単位:億円)

科 目	13年度 第2四半期累計*	14年度 第2四半期累計	増減
税金等調整前四半期純利益	180	379	+199
減価償却費	151	175	+24
運転資金の増減	164	49	△115
その他	29	△124	△153
営業キャッシュ・フロー	524	479	△45
固定資産の取得	△148	△188	△40
その他	11	68	+57
投資キャッシュ・フロー	△137	△120	+17
フリーキャッシュ・フロー	387	359	△28
借入金・社債の増減	△80	△244	△164
配当金支払他	△38	△60	△22
財務キャッシュ・フロー	△118	△304	△186
為替換算差額 他	10	19	+9
現金及び現金同等物の増減額	278	74	△204
現金及び現金同等物の期末残高	818	1,029	+211

* 13年度第1四半期は合併前のため 電線材料セグメント数値を含んでおりません

自動車および産業インフラ関連製品を中心として堅調に推移、14年度通期の業績は売上高、利益とも当初予想を上回る見込みであり、2014年4月24日公表の14年度通期連結業績予想を修正いたします。なお、今回予想数値には、Waupaca社買収後の影響を織り込んでいます。

2014年度 連結業績予想数値(2014年4月1日～2015年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表(A)	百万円 910,000	百万円 68,000	百万円 65,000	百万円 42,000	円 銭 98.21
今回発表(B)	990,000	77,000	72,500	46,000	107.57
増減額(B)－(A)	80,000	9,000	7,500	4,000	
増減率(%)	8.8%	13.2%	11.5%	9.5%	
(ご参考) 13年度通期実績*	807,952	59,536	60,898	39,417	95.65

* 13年度第1四半期は合併前のため、13年度第2四半期累計実績に電線材料セグメント数値を含んでおりません

Waupaca社買収影響を織り込んだ業績予想・計画

(億円)

	2012年度実績 日立金属・日立電線 単純合算ベース (為替レート 1\$=83.10円)	2013年度実績 日立電線 13/1Q業績合算後 (為替レート 1\$=100.24円)	2014年度 業績予想 (為替レート 1\$=104円)	2015年度 中期計画見直し後 (想定為替レート 1\$=100円)
売上高	8,977	8,962	9,900	11,100
営業利益	(2.8%) 254	(7.0%) 628	(7.8%) 770	(8.1%) 900
経常利益	286	639	725	865
(特別損益)	△193	△78	△55	65
税引前純利益	93	561	670	930
当期純利益	38	437	460	700
総資産	7,999	8,407	10,400	10,600
株主資本	3,257	3,629	4,000	4,600
有利子負債	2,027	1,760	2,400	2,300
D/Eレシオ(倍)	0.62	0.48	0.60	0.5
ROE	1.2%	12.7%	12.1%	16%
海外売上高比率	37%	41%	47%	52%
海外生産比率	22%	25%	33%	40%
人員(人)	28,476	26,850	30,700	30,600

* Waupaca社の業績は下記にて予想及び計画数値に織り込んでおります。
 14年度予想: 14/11~15/3の5か月分を反映 売上高 775億円、営業利益 35億円
 15年度計画: 15/4~16/3の12か月を織り込み 売上高 1,870億円、営業利益 130億円

Waupaca社買収後の事業計画

■ 14年度下期 (為替レート 1\$=105円) 14年11月より「高級機能部品セグメント」に業績を反映 (億円)

Waupaca社	売上高	775	14年度は14年11月～15年3月までの5か月
	営業利益 (営業利益率)	65 (8.4%)	
買収に伴う費用	のれん償却	△14	644百万ドル、20年償却
	無形資産償却	△8	240百万ドル、14年償却
	コーポレート関連費用他	△8	
営業利益再計 (営業利益率)		35 (4.5%)	

■ 15年度 (為替レート 1\$=100円)

Waupaca社	売上高	1,870	
	営業利益 (営業利益率)	200 (10.7%)	
買収に伴う費用	のれん償却	△32	
	無形資産償却	△17	
	コーポレート関連費用他	△21	
営業利益再計 (営業利益率)		130 (7.0%)	

2014年度通期 セグメント別業績予想

(単位:億円)

	売上高				営業利益				【ご参考】 15年度中期経営計画 見直し数値	
	13年度 通期 実績*1	14年度 通期 前回予想*2	14年度 通期 今回予想	前年 同期比	13年度 通期 実績*1	14年度 通期 前回予想*2	14年度 通期 今回予想	前年 同期比	売上高	営業利益
高級金属製品	2,377	2,625	2,590	109%	254 (10.7%)	300 (11.4%)	320 (12.4%)	+66	2,690	315 (11.7%)
磁性材料	1,342	1,410	1,350	101%	117 (8.7%)	160 (11.3%)	165 (12.2%)	+48	1,440	165 (11.5%)
高級機能部品	1,877	1,885	2,725	145%	128 (6.8%)	145 (7.7%)	175 (6.4%)	+47	4,000	310 (7.8%)
電線材料	2,512	3,200	3,250	129%	170 (6.8%)	165 (5.2%)	200 (6.2%)	+30	3,100	205 (6.6%)
その他・消去	△28	△20	△15	—	△74	△90	△90	△16	△130	△95
連結合計	8,080	9,100	9,900	123%	595 (7.4%)	680 (7.5%)	770 (7.8%)	+175	11,100	900 (8.1%)





*1 13年度第1四半期は合併前のため、13年度通期実績に電線材料セグメント数値を含んでおりません

*2 2014年4月24日公表数値

(参考) 日立金属 セグメント別事業内容

事業セグメント

主要製品

事業セグメント	主要製品										
	<table border="1"> <tr> <td>高級金属カンパニー</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>特殊鋼</td> <td>高級特殊鋼[YSSヤスキハガネ]：工具鋼、電子材料[ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料]、産業機器材料[自動車関連材料、航空機関連材料、エネルギー関連材料]、剃刃材および刃物材、精密铸造品</td> </tr> <tr> <td>ロール</td> <td>各種圧延用ロール、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品</td> </tr> <tr> <td>軟磁性材料</td> <td>アモルファス金属材料[Metglas®]</td> </tr> <tr> <td>日立ツール株式会社</td> <td>切削工具</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	高級金属カンパニー	<table border="1"> <tr> <td>特殊鋼</td> <td>高級特殊鋼[YSSヤスキハガネ]：工具鋼、電子材料[ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料]、産業機器材料[自動車関連材料、航空機関連材料、エネルギー関連材料]、剃刃材および刃物材、精密铸造品</td> </tr> <tr> <td>ロール</td> <td>各種圧延用ロール、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品</td> </tr> <tr> <td>軟磁性材料</td> <td>アモルファス金属材料[Metglas®]</td> </tr> <tr> <td>日立ツール株式会社</td> <td>切削工具</td> </tr> </table>	特殊鋼	高級特殊鋼[YSSヤスキハガネ]：工具鋼、電子材料[ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料]、産業機器材料[自動車関連材料、航空機関連材料、エネルギー関連材料]、剃刃材および刃物材、精密铸造品	ロール	各種圧延用ロール、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品	軟磁性材料	アモルファス金属材料[Metglas®]	日立ツール株式会社	切削工具
	高級金属カンパニー	<table border="1"> <tr> <td>特殊鋼</td> <td>高級特殊鋼[YSSヤスキハガネ]：工具鋼、電子材料[ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料]、産業機器材料[自動車関連材料、航空機関連材料、エネルギー関連材料]、剃刃材および刃物材、精密铸造品</td> </tr> <tr> <td>ロール</td> <td>各種圧延用ロール、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品</td> </tr> <tr> <td>軟磁性材料</td> <td>アモルファス金属材料[Metglas®]</td> </tr> <tr> <td>日立ツール株式会社</td> <td>切削工具</td> </tr> </table>	特殊鋼	高級特殊鋼[YSSヤスキハガネ]：工具鋼、電子材料[ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料]、産業機器材料[自動車関連材料、航空機関連材料、エネルギー関連材料]、剃刃材および刃物材、精密铸造品	ロール	各種圧延用ロール、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品	軟磁性材料	アモルファス金属材料[Metglas®]	日立ツール株式会社	切削工具	
	特殊鋼	高級特殊鋼[YSSヤスキハガネ]：工具鋼、電子材料[ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料]、産業機器材料[自動車関連材料、航空機関連材料、エネルギー関連材料]、剃刃材および刃物材、精密铸造品									
	ロール	各種圧延用ロール、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品									
軟磁性材料	アモルファス金属材料[Metglas®]										
日立ツール株式会社	切削工具										
	<table border="1"> <tr> <td>磁性材料カンパニー</td> <td> マグネット (希土類磁石[NEOMAX®]・フェライト磁石・その他各種磁石およびその応用品) 軟質磁性材料(ソフトフェライト・ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット®])およびその応用品、アモルファス金属材料[Metglas®]応用品、情報通信機器用材料・部品、医療機器用材料・部品 </td> </tr> </table>	磁性材料カンパニー	マグネット (希土類磁石[NEOMAX®]・フェライト磁石・その他各種磁石およびその応用品) 軟質磁性材料(ソフトフェライト・ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット®])およびその応用品、アモルファス金属材料[Metglas®]応用品、情報通信機器用材料・部品、医療機器用材料・部品								
磁性材料カンパニー	マグネット (希土類磁石[NEOMAX®]・フェライト磁石・その他各種磁石およびその応用品) 軟質磁性材料(ソフトフェライト・ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット®])およびその応用品、アモルファス金属材料[Metglas®]応用品、情報通信機器用材料・部品、医療機器用材料・部品										
	<table border="1"> <tr> <td>高級機能部品カンパニー</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>自動車用鋳物</td> <td>自動車用高級鋳物部品(排気系耐熱鋳造部品[ハーキュナイト®]、高級ダクタイル鋳鉄製品[HNM®])、アルミホイール[SCUBA®]、その他アルミニウム部品、自動車用鍛造部品</td> </tr> <tr> <td>配管機器</td> <td>設備配管機器(♁®印各種管継手・ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張タンク)</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>日立機材株式会社</td> <td>建築部材(内装システム、構造システム、屋上システム)、チェン(マテハンシステム)</td> </tr> </table>	高級機能部品カンパニー	<table border="1"> <tr> <td>自動車用鋳物</td> <td>自動車用高級鋳物部品(排気系耐熱鋳造部品[ハーキュナイト®]、高級ダクタイル鋳鉄製品[HNM®])、アルミホイール[SCUBA®]、その他アルミニウム部品、自動車用鍛造部品</td> </tr> <tr> <td>配管機器</td> <td>設備配管機器(♁®印各種管継手・ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張タンク)</td> </tr> </table>	自動車用鋳物	自動車用高級鋳物部品(排気系耐熱鋳造部品[ハーキュナイト®]、高級ダクタイル鋳鉄製品[HNM®])、アルミホイール[SCUBA®]、その他アルミニウム部品、自動車用鍛造部品	配管機器	設備配管機器(♁®印各種管継手・ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張タンク)	日立機材株式会社	建築部材(内装システム、構造システム、屋上システム)、チェン(マテハンシステム)		
	高級機能部品カンパニー	<table border="1"> <tr> <td>自動車用鋳物</td> <td>自動車用高級鋳物部品(排気系耐熱鋳造部品[ハーキュナイト®]、高級ダクタイル鋳鉄製品[HNM®])、アルミホイール[SCUBA®]、その他アルミニウム部品、自動車用鍛造部品</td> </tr> <tr> <td>配管機器</td> <td>設備配管機器(♁®印各種管継手・ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張タンク)</td> </tr> </table>	自動車用鋳物	自動車用高級鋳物部品(排気系耐熱鋳造部品[ハーキュナイト®]、高級ダクタイル鋳鉄製品[HNM®])、アルミホイール[SCUBA®]、その他アルミニウム部品、自動車用鍛造部品	配管機器	設備配管機器(♁®印各種管継手・ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張タンク)					
	自動車用鋳物	自動車用高級鋳物部品(排気系耐熱鋳造部品[ハーキュナイト®]、高級ダクタイル鋳鉄製品[HNM®])、アルミホイール[SCUBA®]、その他アルミニウム部品、自動車用鍛造部品									
配管機器	設備配管機器(♁®印各種管継手・ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張タンク)										
日立機材株式会社	建築部材(内装システム、構造システム、屋上システム)、チェン(マテハンシステム)										
	<table border="1"> <tr> <td>電線材料カンパニー</td> <td>電線(電力・産業システム、電子・通信材料、電機材料、工業用ゴム製品)、自動車部品(電装部品、ブレーキホース)、情報デバイス(情報ネットワーク、ワイヤレスシステム、化合物半導体)</td> </tr> </table>	電線材料カンパニー	電線(電力・産業システム、電子・通信材料、電機材料、工業用ゴム製品)、自動車部品(電装部品、ブレーキホース)、情報デバイス(情報ネットワーク、ワイヤレスシステム、化合物半導体)								
電線材料カンパニー	電線(電力・産業システム、電子・通信材料、電機材料、工業用ゴム製品)、自動車部品(電装部品、ブレーキホース)、情報デバイス(情報ネットワーク、ワイヤレスシステム、化合物半導体)										

※当セグメントは、2013年7月1日付日立電線株式会社との合併に伴い新設

材料開発をベースに幅広い産業分野で「質」を提供する素材メーカー

事業セグメント	産業インフラ	自動車	エレクトロニクス
高級金属製品	特殊鋼(工具鋼・産業機器材料)		特殊鋼(電子材料)
	ロール		
	アモルファス金属材料		
	切削工具		
磁性材料	マグネット		
	ソフトフェライト他軟質磁性材料・応用品		
高級機能部品		自動車用高級鋳物	
	配管機器		
	建築部材		
電線材料	電線		
		自動車部品	
	情報デバイス		

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となるもの主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動